

GUJI



NARDOS
COFFEE EXPORT



Foge Washing Station

●Guji：グジ (Guji) は、南部のオロミア州 (Oromia Region) にある行政区画 (ゾーン) です。エチオピア産のコーヒーを代表するイルガチェフェの南東に位置します。南はボレナ・ゾーン、西は南エチオピア州方面、北はガナレ・ドリヤ川を挟んでバレ・ゾーン、東はソマリ州と接しています。1,800～2,350mの高地にあり、土壌はコーヒーの栽培に適した肥沃な火山性土壌、気候は昼夜の温度差が大きく、森林に覆われた半野生的な環境が多いエリアです。グジという名前は、この地域に住むオロモ族の一派「グジ族」に由来します。歴史的には牧畜や金採掘が盛んでしたが、2000年代以降コーヒー栽培が急速に広まりました。

●Guji Coffee：以前は「シダモ (Sidamo)」として一括りにされていましたが、2010年頃にECX (エチオピア商品取引所) で独立した産地として正式に認定されました。イルガチェフェやシダモに比べると比較的新しいスペシャルティ産地ですが、近年急速に評価が高まり、グジコーヒーは「エチオピアの新しいスター産地」として、ベリー感あふれるナチュラルやクリーンなウォッシュドの両方で世界中のロースターから高い評価を受けています。

●Foge Washing Station：フォゲ水洗工場は、西グジ アバヤ地域に位置する、歴史と高い評価を誇るウォッシングステーションの一つです。同地域を代表する高品質なコーヒーの生産地として知られています。標高約2,000mの高地に位置し、年間平均降水量は約1,500mm。火山灰を豊富に含む肥沃な土壌と恵まれた自然環境は、コーヒー栽培に理想的な条件を備えています。こうした環境が、個性豊かで高品質なコーヒーの生産を支えています。

●Nardos Coffee Export：フォゲ水洗工場を所有するNardos Coffee Exportは、1960年代にまで遡るコーヒーの歴史を持つ、3代続く家族経営企業です。現オーナー兼代表取締役であるアクリル・カッサ氏の祖父、チリサ氏は、エチオピア・キレンソ地域 (西グジ地区) でコーヒー栽培を開始し、その歴史の礎を築きました。その後、父であるカッサ氏が事業を小規模農園から大規模事業へと発展させ、ウォッシングステーションを設立。コーヒー供給体制を整え、供給基盤を構築しました。1998年には、アクリル・カッサ氏がNardos Coffee Exportを設立。以来、着実な成長を遂げ、コーヒー業界において確かな地位を確立しています。

生産国：エチオピア

地域：オロミア州 グジ地方

標高：1,900-2,200m

規格：G1

フォゲ水洗工場：西グジ アバヤ地域

乾燥：アフリカンベッド (ベッド数250)

精製：ウォッシュド

完熟チェリーを選別後、果肉除去・発酵・洗浄を行い、

アフリカンベッドで13～16日乾燥

品種：Badessa、Wolichu、Kudhume (74110、74158、74112)

コーヒー供給地域：フォゲ、ハフェルサ・ワロ、ボチエサ、シャラ

(ケベレ)